

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 配当金支払株主確定日 3月31日
- 中間配当金支払株主確定日 9月30日
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 〈お問い合わせ先〉 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
- 〈各種手続用紙のご請求〉 TEL 0120-244-479 (通話料無料)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
- 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
名古屋証券取引所市場第一部
- ホームページ <http://www.taihonet.co.jp/>

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。

- TEL(通話料無料) 0120-244-479
- ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、「(株)証券保管振替機構」に預託されました株券についての諸届および手続き等に関するお問い合わせは、お取引先の証券会社へお願いいたします。

 **大豊工業株式会社**

お問い合わせ TEL(0565)28-2225 総務部広報室

第102期 株主通信

平成19年4月1日～平成20年3月31日
証券コード 6470

CONTENTS

- 株主の皆様へ
- 営業の概況
- 中期経営計画
- 業績ハイライト
- セグメント情報
- トピックス
- 製品のご紹介
- グローバルネットワーク
- 連結決算の概要
- 株式の概況
- 会社の概況



◎株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第102期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）の決算の概況につきまして、ご報告申し上げます。

平成20年6月

取締役社長
高橋 清八



◎営業の概況

当期の業績

国内事業では、当社の子会社「大豊岐阜株式会社」および新規事業（自動車部品）を開始した「大豊精機株式会社」が、立上げ時の投資負担等により収益を圧迫しておりましたが、競争力強化に向けた生産効率の向上を図った結果、収益は黒字化いたしました。

海外事業においては、当社子会社「大豊工業（煙台）有限公司」の第2工場が完成し、2007年11月より本格稼働を開始いたしました。これにより、中国における生産体制の強化を図ってまいります。

連結営業利益は、原材料価格の高騰が少し落ち着いたことに加え、品質改善、生産性向上等グループあがりの経営全般にわたる合理化活動に取り組んだ結果、57億5千万円となり、前期に比べ16億円（前期比38.6%増）の増益となりました。連結経常利益は、固定資産除却損の増加および為替差損等による減益要因がりましたが、56億2千万円となり、前期に比べ13億3千万円（前期比31.1%増）の増益となりました。連結当期純利益は36億9千万円となり、前期に比べ10億9千万円（前期比42.2%増）の増益となりました。

当期の配当金につきましては、昨年11月に中間配当金として1株につき12円とさせていただきますが、期末の配当金につきましては、1株につき18円とし、年間としては前期に比べ9円増配の1株につき30円とさせていただきます予定であります。

次期の業績につきましては、連結売上高は1,100億円（前期比1.0%増）、連結営業利益は52億円（前期比9.7%減）、連結経常利益は53億円（前期比5.7%減）、連結当期純利益は32億円（前期比13.4%減）を見込んでおります。

今後の経営環境および当社の展開

鉄鋼や非鉄金属などの原材料及び原油などのエネルギー価格の高騰、急激な為替変動や新興市場を含めたグローバル競争の激化等、世の中の動きがめまぐるしく変化しております。このような厳しい状況下において当社は、2006年度から2008年度を中期として、中期経営方針に「技術革新・生産革新により、世界競争を勝ち抜く」、スローガンに「自ら創造、自ら挑戦」を掲げ、更なる企業成長を目指しております。

今後、更なるグループの経営基盤強化を図り、施策を確実に成果に結びつける中で、品質の造り込み、生産性向上等におけるコスト低減、独自技術を生かした開発力の向上を進め、お客様、株主、従業員、地域社会等、全てのステークホルダーの皆様へ信頼され、満足いただける強固かつ高収益な体質づくりに向け、グループ一丸となり、努力してまいります。特に、2008年度は会社重点指針を「自らの仕事の質に『こだわり』を、すべての仕事に改革を！」とし、改めて基本に立ち返り、展開を進めてまいります。

◎中期経営計画（2006～2008年）

経営方針

技術革新・生産革新により、世界競争を勝ち抜く

スローガン

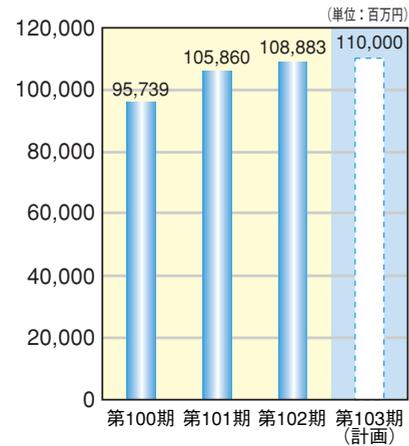
自ら**創造** 自ら**挑戦**

●中期達成目標

- ①環境、安全、コンプライアンスが浸透した風土づくり
- ②技術・品質、No.1の商品づくり
- ③スクラップ&ビルドによる経営資源の集中と、高収益体質づくり
（事業別経営戦略と、グループ経営の強化）
- ④世界競争を勝ち抜く人材の育成と組織づくり

◎業績ハイライト（連結）

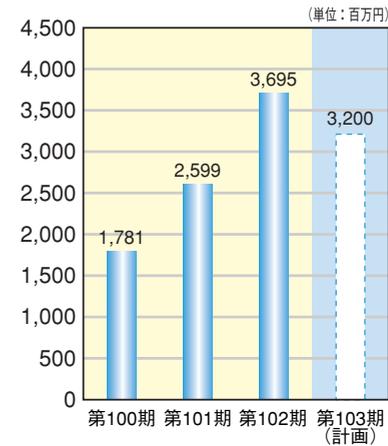
◆売上高



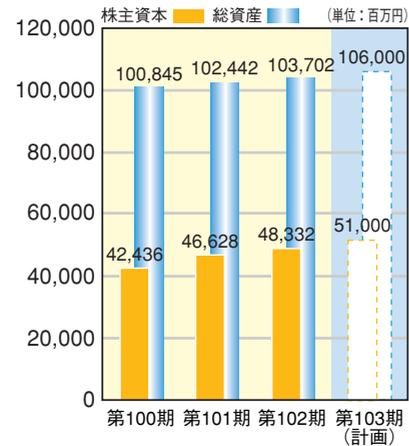
◆経常利益



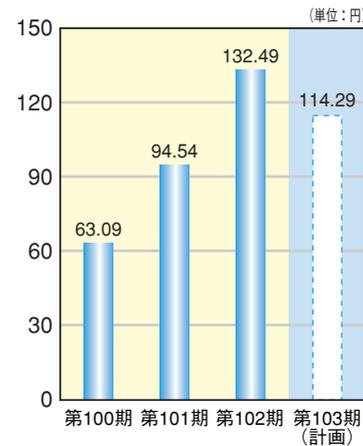
◆当期純利益



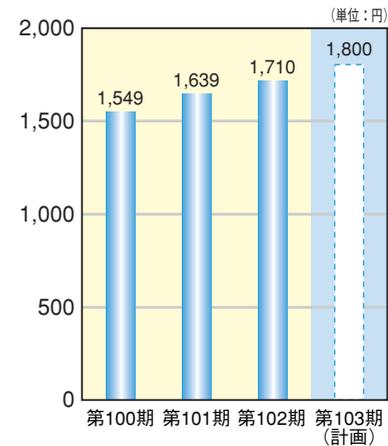
◆総資産/株主資本



◆1株当たり当期純利益

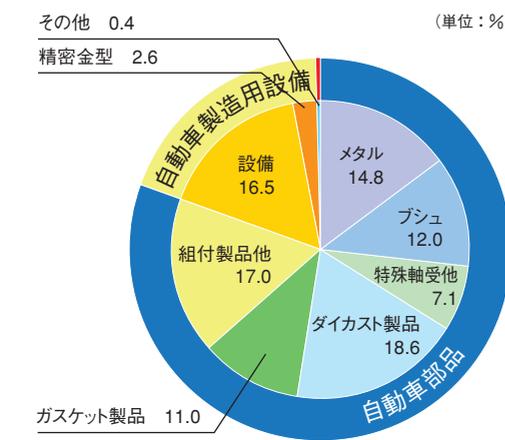


◆1株当たり株主資本



◎セグメント情報（連結）

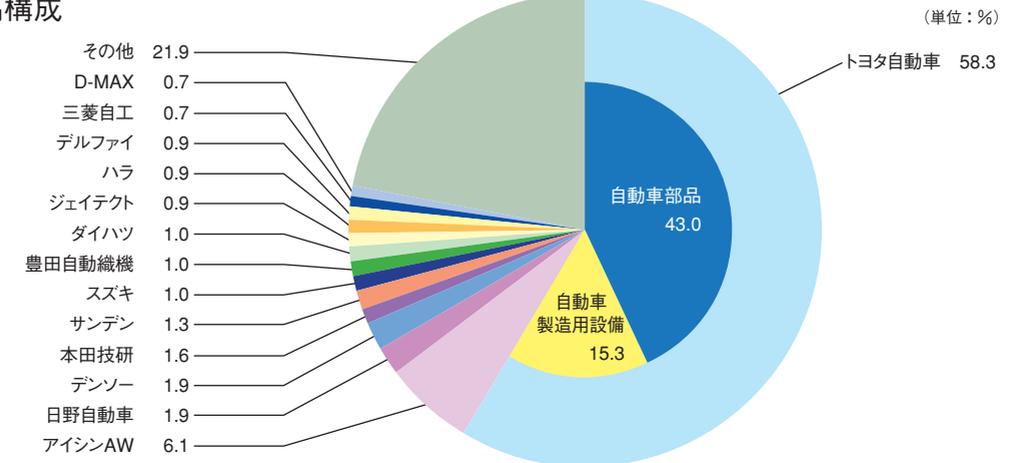
◆製品別売上高構成



製品別	第101期 (百万円)	第102期 (百万円)
軸受	33,197	36,919
ダイカスト	19,757	20,203
ガスケット	10,488	12,007
組付製品他	16,521	18,523
設備	22,752	17,960

	第101期	第102期	増減額	増減率
軸受	33,197	36,919	3,721	11.2%
ダイカスト	19,757	20,203	446	2.3%
ガスケット	10,488	12,007	1,518	14.5%
組付製品他	16,521	18,523	2,001	12.1%
設備	22,752	17,960	△4,791	△21.1%

◆客先別売上高構成



◎トピックス

中国「大豊工業（煙台）有限公司」第2工場 本格稼働を開始

当社連結子会社の中国現地法人「大豊工業（煙台）有限公司」は、当社の生産設備・技術導入による軸受の高性能・高品質の要求への対応、および日系自動車メーカーの現地生産への対応、拡大していく中国ディーゼルエンジン市場への対応を目的として、2007年11月に第2工場の本格稼働を開始いたしました。

急速に成長を続けている中国の自動車市場において、生産体制の強化を図ってまいります。

社名：大豊工業（煙台）有限公司
所在地：中国 山東省 煙台市 経済技術開発区
設立日：2002年12月
出資比率：大豊工業株式会社100%
業務内容：エンジンベアリング、ブシュ等の製造、販売
売上高：22億円（2007年度）
敷地面積：第2工場 66,000㎡ ※第1工場 15,300㎡
工場面積：第2工場 12,000㎡ ※第1工場 9,200㎡



トランスミッション用鉛フリー高性能ブシュ HB200



欧州ELV指令により、2008年8月から青銅鉛系ブシュの使用が禁止されますが、従来のトランスミッションに使用されるブシュは、高面圧領域での摩耗、高周速領域での焼付きが課題となり、全ての部位での鉛フリー化が困難でした。

当社が開発した高性能鉛フリー銅合金ブシュ「HB200」は、優れた耐焼付き性、耐摩耗性を備え、従来の鉛フリー材では適用できなかった高面圧・高周速領域での使用が可能になりました。これにより、トランスミッションで使用される全てのブシュの鉛フリー化を世界に先駆けて実現。アイシン・エイ・ダブリュ（株）から「技術開発協力賞」を受賞するなど、各自動車メーカーから高い評価を頂いております。

ブレーキブースタ用バキュームポンプ



ブレーキの作動を補助する小型高性能「バキュームポンプ」を開発。トヨタ自動車（株）が開発した新世代の動弁機構「バルブマチック」を搭載したエンジンに採用されました。当社の「バキュームポンプ」は負圧特性の向上、駆動トルクの低減、騒音の低減を実現し、エンジンの低燃費化と静粛性に貢献しております。また、極低温（-40℃）での使用にも耐えられる信頼性を確保しております。この技術開発力が認められ、トヨタ自動車（株）からプロジェクト表彰「技術の部」を受賞し、高い評価を頂いております。

アイシン・エイ・ダブリュ株式会社より、「技術開発協力賞」を受賞

2008年5月にトランスミッション用鉛フリー高性能ブシュとして量産採用された「HB200」が、アイシン・エイ・ダブリュ株式会社の2007年度「技術開発協力賞」を受賞いたしました。

従来の鉛フリー銅系軸受では成し得なかった高い耐焼付き性、耐摩耗性を大豊固有の材料設計・製造技術を駆使して実現。世界に先駆け、オートマチックトランスミッションユニットの環境負荷物質（SOC）規制対応に大きく貢献したことが認められたものです。



感謝状



表彰盾



授賞式の様子

米国ビステオン社より、「Visteon Important Partner Award」を受賞

2008年4月に米国ビステオン社より「Visteon Important Partner Award」を受賞しました。

この賞は、品質・納入・技術・コストの分野で総合的に優秀な実績を残したサプライヤーが受賞できる栄えある賞で、世界中のビステオン社サプライヤー約3,500社のうち、23社が受賞したものです。当社では、篠原工場、タイホウコーポレーションオブアメリカ、韓国大豊（株）、タイホウコーポレーションオブヨーロッパから、それぞれビステオン社の各拠点へ製品を納入しています。この受賞をきっかけに、より強い客先との信頼関係を築いてまいります。



感謝状



表彰盾

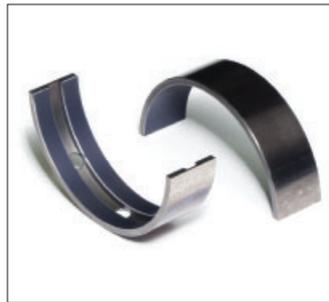


授賞式の様子

◎製品のご紹介

■鉛フリー高性能エンジンベアリング

長年に渡るトライボロジー（摩擦・摩耗・潤滑の技術）の研究により、他社に先駆けて鉛フリーエンジンベアリングの実用化に成功しました。当社の鉛フリーエンジンベアリングは、高面圧・高周速領域での使用を実現し、高性能化するエンジンに対応。世界中の自動車メーカーから高く評価されています。



■鉛フリー高性能ブッシュ

優れた耐焼付き性、耐摩耗性を備えた鉛フリーブッシュを開発。トランスミッションに使用される全てのブッシュの鉛フリー化を世界に先駆けて実現し、各社より高い評価を頂いております。



■鉛フリーバランスウエイト

自動車用ホイールに装着されるバランスウエイトは、従来は鉛製であったものを全て鉄製として、鉛フリー化を実現しております。また、クリップタイプ、分離タイプなどさまざまな使用条件に合わせたラインナップをしており、意匠性、取り付け性を損なうことなく使用できます。



■シリンダヘッドガスケット

小型軽量、高出力、低燃費などの性能向上にともない高筒内圧化が図られるエンジンに優れたシール性で対応。さらに環境負荷物質規制に先駆けて、六価クロムフリー化を実現しております。



■バタフライ式EGRバルブ

バタフライ式EGRバルブは、流路抵抗及び駆動力が小さいという利点がありながら、全閉時の締め切り性の悪さといった懸念事項により現在まで採用されてきませんでした。今回新コンセプトのシール構造を開発することで、日本で初めてバタフライ式EGRバルブを実用化しました。大量EGRと精密制御が可能となり、排気規制である新長期規制への対応に大きく貢献しております。



■アルミダイカスト製品

高精度、高強度、複雑形状など、これまでダイカストでは困難とされてきたさまざまな製品に挑戦し、その高度な技術力で付加価値の高い製品を生み出しています。



■電気電子部品

オートマチックトランスミッション用ソレノイドバルブの駆動部位であるコイルコアアッシーを生産。当社のコア技術であるすべり軸受を使用し、小型軽量かつ優れた樹脂成形技術により高い信頼性を確保しています。



■精密金型

焼結型、精密鋳造型、精密プラスチック成型型など、多様な用途において極めて高精度を要求される精密金型を製造しています。



◎グローバルネットワーク

●大豊精機 株式会社



- ・事業内容
自動車製造用設備
自動車用部品
- ・売上高
222億4千8百万円

●日本ガスケット 株式会社



- ・事業内容
ガスケット製品等
- ・売上高
117億4千4百万円

●株式会社 ティーイーティー



- ・事業内容
金型
自動車用部品
- ・売上高
22億2千4百万円

●株式会社 タイホウ ライフ サービス

- ・事業内容
営繕、福利厚生事業
- ・売上高
9億5千4百万円

●株式会社 タイホウ テクノ サービス

- ・事業内容
工場運営の改善、人材育成
- ・売上高
9千2百万円

●大豊岐阜 株式会社



- ・事業内容
自動車用部品
- ・売上高
47億7百万円

●株式会社 タイホウ パーツ センター

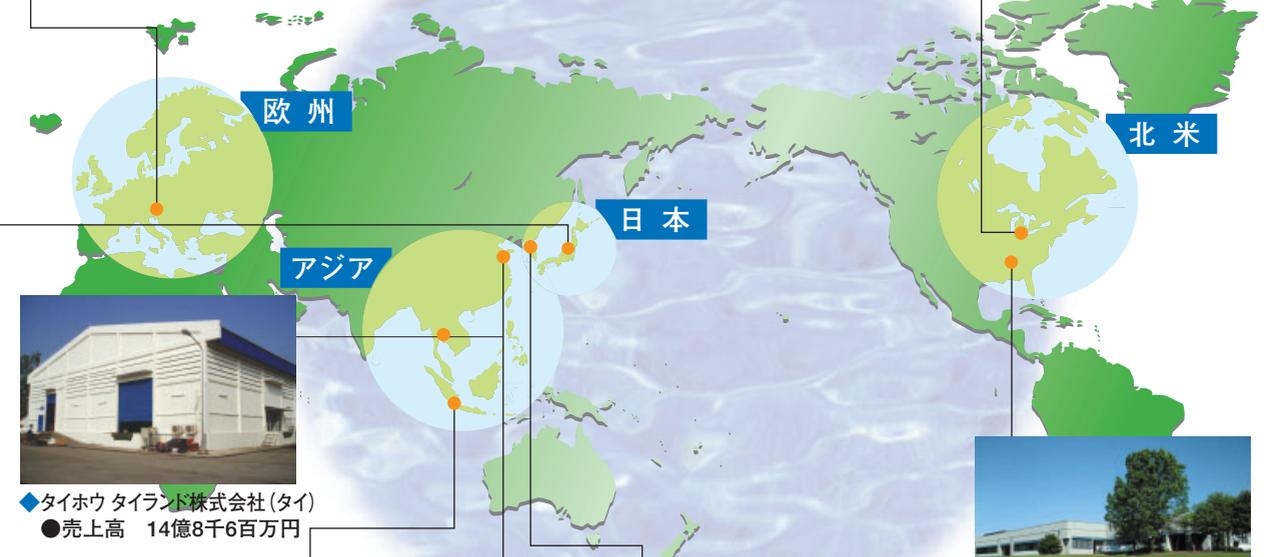
- ・事業内容
自動車用部品の梱包・物流
- ・売上高
4億3千9百万円



- ◆タイホウ コーポレーション
オブ ヨーロッパ 有限会社 (ハンガリー)
- 売上高 32億4千6百万円



- ◆タイホウ コーポレーション
オブ アメリカ (米国)
- 売上高 37億6千3百万円



- ◆タイホウ タイランド 株式会社 (タイ)
- 売上高 14億8千6百万円



- ◆タイホウ マニュファクチャリング
オブ テネシー LLC (米国)
- 売上高 5億4千1百万円



- ◆タイホウ ヌサンタラ 株式会社
(インドネシア)
- 売上高 7億9千万円



- ◆大豊工業 (煙台) 有限公司 (中国)
- 売上高 21億5千3百万円



- ◆韓国大豊株式会社 (韓国)
- 売上高 10億6千4百万円

◎連結決算の概要

連結貸借対照表

単位：百万円

資産の部			負債の部		
科目	当期 H20.3.31現在	前期 H19.3.31現在	科目	当期 H20.3.31現在	前期 H19.3.31現在
流動資産	46,416	45,161	流動負債	28,630	27,813
現金預金	14,530	13,582	固定負債	26,739	28,000
受取手形及び売掛金	20,495	21,090	社債	15,999	16,000
有価証券	499	599	退職給付引当金	2,271	2,638
たな卸資産	7,404	6,697	その他	8,468	9,361
その他	3,486	3,192	負債合計	55,370	55,814
固定資産	57,286	57,280	純資産の部		
有形固定資産	51,405	50,147	株主資本	46,364	43,249
無形固定資産	543	537	資本金	6,160	5,967
投資その他の資産	5,337	6,595	資本剰余金	9,629	9,436
合計	103,702	102,442	利益剰余金	30,761	28,029
			自己株式	△188	△184
			評価・換算差額等	1,533	2,097
			その他有価証券 評価差額金	318	913
			為替換算調整勘定	1,215	1,184
			新株予約権	42	9
			少数株主持分	391	1,271
			純資産合計	48,332	46,628
			合計	103,702	102,442

連結損益計算書

単位：百万円

科目	当期 H19.4.1から H20.3.31まで	前期 H18.4.1から H19.3.31まで
売上高	108,883	105,860
売上原価	92,602	91,797
売上総利益	16,281	14,062
販売費及び一般管理費	10,525	9,908
営業利益	5,756	4,154
営業外収益	933	916
営業外費用	1,069	784
経常利益	5,620	4,286
特別利益	560	66
特別損失	445	81
税金等調整前当期純利益	5,736	4,271
法人税、住民税及び事業税	2,019	1,525
法人税等調整額	△101	35
少数株主利益	123	110
当期純利益	3,695	2,599

連結株主資本等変動計算書

当期（H19.4.1からH20.3.31まで）

単位：百万円

科目	株主資本					評価・換算 差額等	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
平成19年3月31日残高	5,967	9,436	28,029	△184	43,249	2,097	9	1,271	46,628
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△332		△332				△332
剰余金の配当（中間配当）			△335		△335				△335
当期純利益			3,695		3,695				3,695
ストックオプション行使による資本組入	192	192			384				384
転換社債の株式への転換による新株発行	0	0			1				1
自己株式の取得				△3	△3				△3
その他			△295		△295				△295
株主資本以外の項目の当連結会計年度中の変動額（純額）						△563	32	△879	△1,411
連結会計年度中の変動額合計	192	192	2,732	△3	3,114	△563	32	△879	1,703
平成20年3月31日残高	6,160	9,629	30,761	△188	46,364	1,533	42	391	48,332

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

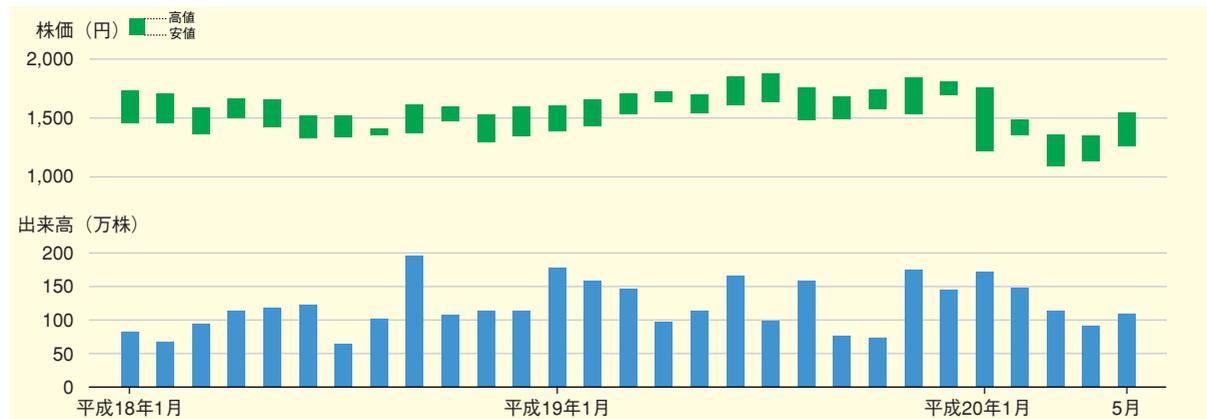
科目	当期 H19.4.1から H20.3.31まで	前期 H18.4.1から H19.3.31まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,121	8,539
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,926	△9,320
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,689	△1,064
現金及び現金同等物に係る換算差額	29	182
現金及び現金同等物の増減額	535	△1,662
現金及び現金同等物の期首残高	13,060	14,723
新規子会社の現金及び現金同等物受入に伴う増加高	186	—
現金及び現金同等物の期末残高	13,782	13,060

◎株式の概況（平成20年3月31日現在）

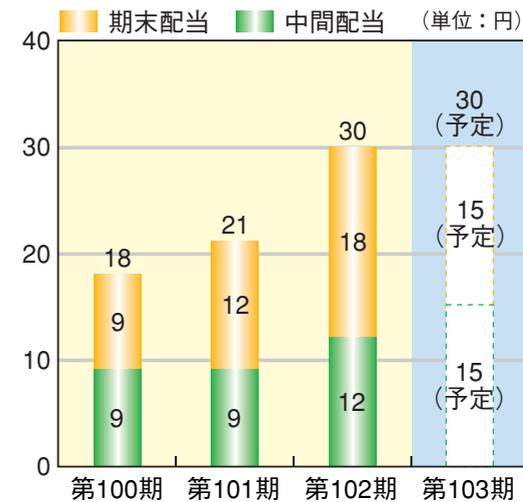
- 発行可能株式総数 48,400,000株
- 発行済株式総数 28,161,657株
- 株主数 4,230名
- 大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）
トヨタ自動車株式会社	9,676
株式会社豊田自動織機	1,427
日本発条株式会社	1,344
豊田通商株式会社	1,071
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,057
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,018
ノーザントラストカンパニーエイチエフシーファイデリティファンズ	446
大豊工業従業員持株会	400
野村信託銀行株式会社（投信口）	375
野々山秀夫	305

●株価の推移



●1株当たり年間配当金



◎会社の概況（平成20年3月31日現在）

会社概要

創業 昭和19年1月
 資本金 61億6千万円
 従業員数 連結：3,259名
 単独：1,495名
 本社所在地 〒471-8502
 愛知県豊田市緑ヶ丘3-65
 TEL (0565) 28-2225（代表）
 事業内容 軸受製品、ダイカスト製品、ガスケット
 製品、組付製品他、精密金型
 上記製品の製造および販売

事業所および営業所

- 本社／本社工場（愛知県豊田市）
- 細谷工場（愛知県豊田市）
- 篠原工場（愛知県豊田市）
- 九州工場（鹿児島県出水市）
- 春日井工場（愛知県春日井市）
- 幸海工場（愛知県豊田市）
- 土岐工場（岐阜県土岐市）
- 東京営業所（東京都中央区）
- 大阪営業所（大阪府大阪市淀川区）
- 静岡営業所（静岡県掛川市）
- デュッセルドルフ事務所（ドイツ）

主な子会社

大豊精機株式会社
 株式会社ティーイーティー
 株式会社タイハウ ライフ サービス
 株式会社タイハウ テクノ サービス
 株式会社タイハウ パーツ センター
 大豊岐阜株式会社
 日本ガスケット株式会社
 タイハウ コーポレーション オブ アメリカ
 タイハウ ヌサンタラ株式会社
 タイハウ コーポレーション オブ ヨーロッパ有限会社
 韓国大豊株式会社
 大豊工業（煙台）有限公司
 タイハウタイランド株式会社
 タイハウ マニュファクチャリング オブ テネシー LLC

役員（平成20年6月19日現在）

取締役社長	高橋清	八義紀
専務取締役	河合弘	紀幸生
専務取締役	天野利和	生一彦
専務取締役	斎藤和喜	謙隆
常務取締役	熊田崎	文隆
常務取締役	山崎藤	義則
常務取締役	近河野	雅敬
取締役	野村義	一司
取締役	松野雅	也知
取締役	島崎敬	次夫
取締役	川上真	仁樹
取締役	佐藤英	稔成
取締役	柴田兼	
常勤監査役	野々山秀	
常勤監査役	岩堀康	
監査役	伊葉山藤	